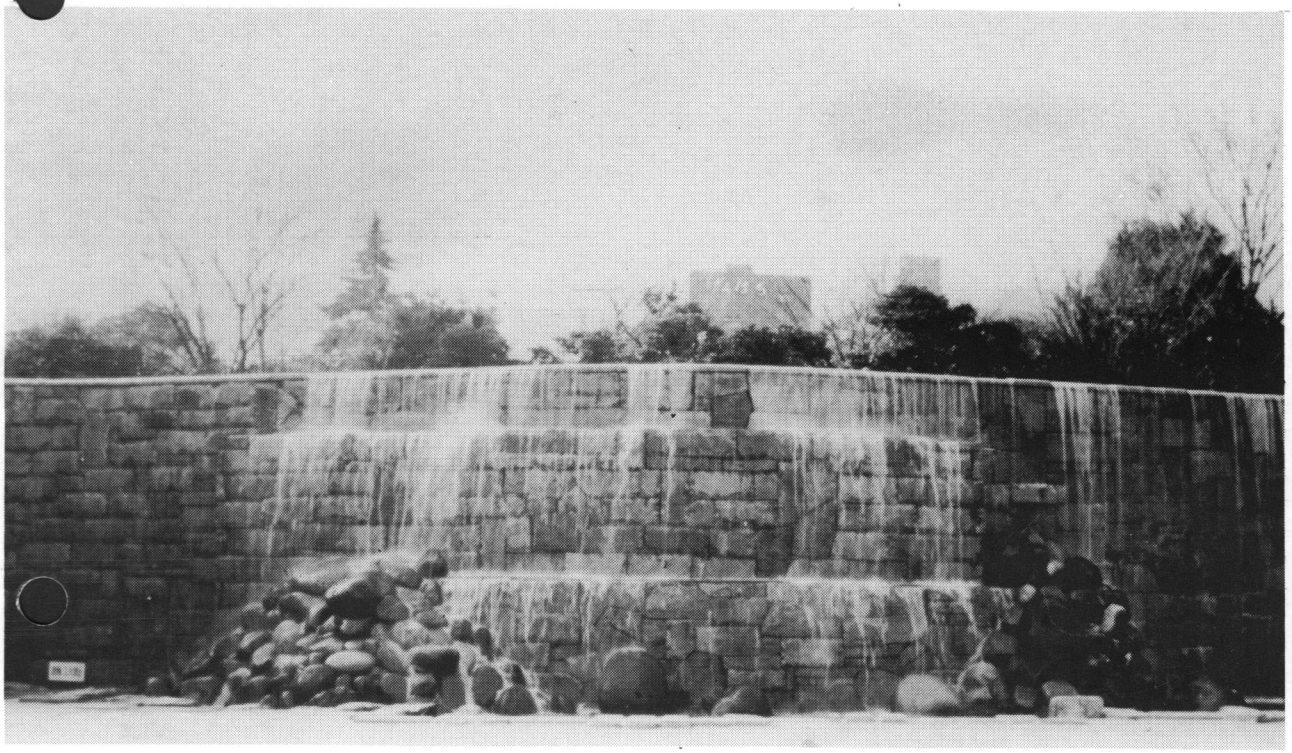
たつくす

6 号

'84. 8.



淀橋物品税協力会

着任の御挨拶



淀橋税務署長

富島治郎

暑さなお厳しい折から、会員の皆様にはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

この度の定期異動で、宮澤前署長のあとをうけて、江戸川税務署長から淀橋税務署長に着任致しました富島でございます。

当署は、明治29年に我が国の官製が敷かれ全国に504の税務署が設置された時の署の一として発足した、いわば日本最古の税務署であり、東京国税局管内でも中枢的しかも有数の伝統ある署として今日に至っておりますが、この署で仕事ができますことは、私にとりまして誠に光栄に思っております。

さて、我が国をとりまく内外の政治経済情勢はなお厳しく、税務行政についても複雑困難な環境にあります。先般の物品税をはじめとする間接税の税率の手直しと、新規課税物品について税法改正が行われましたように、今後は直間比率の見直しと間接税への税制上の期待はますます高まって行くものと思われます。

私ども税務に携わる者といたしましては、適正公平な課税の実現に一層の使命感をもって努力する所存ですが、円滑な税務行政を行うためには、納税者の御協力が不可欠でございます。幸に淀橋物品税協力会は幹部の方をはじめ会員の皆様の普段の御努力により、会活動は活発で顕著な成果を挙げられていることは心強い限りでございます。

どうか今後とも従来に増した御協力、御援助をお願い申し上げます。

終りに淀橋物品税協力会のますますの御発展と会員の皆様方の御繁栄、御健勝を祈念しまして、着任の御挨拶といたします。

お別れの御挨拶



前　淀橋税務署長

宮澤義幸

暑さなお厳しい折から、皆様にはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、私こと、この度の定期異動をもちまして、永年勤務いたしました税務の職場から勇退させて戴くことになりました。

昨年7月、淀橋税務署長に着任して以来、この1年間にお寄せ戴いた会員各位の御厚情に対しまして、心から御礼申し上げます。

東京の新都心として、発展し続ける新宿地区を管轄する当署へ、東村山税務署長から身の引締る思いで着任したことが、つい昨日のように憶い起こされます。

この間、国の財政面における公債依存からの脱却と国民の期待する減税という相反する問題で、税務行政をめぐる環境には厳しいものがありました。特に、物品税法の改正をはじめとする間接税の税率や免税手続の手直し、物品税販売業者証明書のコンピューター化による業者番号の変更等、間接税関係には変化の多い一年でしたが、会員の皆様と各協力団体の御協力、御支援により円滑に事務運営ができましたことに対し、厚く御礼申し上げます。

淀橋物品税協力会におかれましては、新任会長さんの下、益々会活動を推進され、税を知る週間の「無料宝石鑑別会」や機関誌の年2回発行など基本行事の定着化に努められたほか、税繁期等における各種広報活動に御協力戴きましたこと、改めて敬意と感謝を申し上げる次第でございます。

終りに、淀橋物品税協力会の益々の御発展と会員各位の御繁栄、御健勝を祈念申し上げまして、私の御挨拶といたします。

新任富島署長さんを迎えて



淀橋物品税協力会
会　長
奥住　　弘

会員皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、この度ご当局の定期異動で、前宮澤署長さんが退官され、新たに富島署長さんをお迎えすることとなりました。顧みますと、短い1年間でありましたが、細微にわたり当会の運営につきまして、心暖まるご支援、ご協力を賜わりました前宮澤署長さんはじめ幹部の方々に対しまして深く感謝する次第でございます。また前宮澤署長さんにおかれましては、今後のご活躍を大いに期待するものでございます。

また新任の富島署長さんはじめ、ご当局の幹部の方々におかれましても、当会の運営に対しまして倍旧のご理解、ご協力を切にお願いいたしますとともに、ご指導・ご鞭撻を併せてお願い申し上げる次第でございます。

残暑厳しい折、会員皆様方、並びにご当局幹部の皆様方のご健勝をお祈り申し上げましてごあいさつといたします。

昭和58年度　定期総会

昭和58年度、当会の定期総会が、5月18日午後4時30分から、小田急豪華会議室において、淀橋税務署から宮澤署長をはじめ幹部の方々を来賓にお迎えし、役員並びに会員38名が出席して盛大に開催されました。

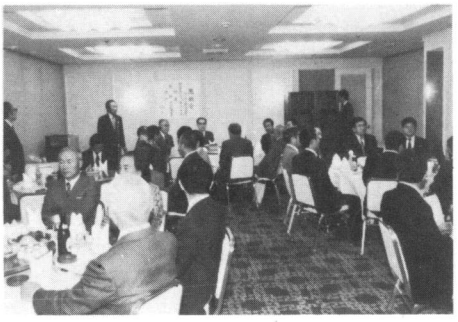
席上、奥住会長はあいさつの中で、当協会の活動状況をふりかえり、本年度も前年度に引続き、当会の事業目的を遂行するため、税務当局の指導と支援のもと、役員をはじめ、全会員一致協力して、結束強化を図り、会員相互の親睦を図るとともに、上部団体及び管内有誼団体とも協力して申告納税制度の普及と税務行政全般の円滑な運営に寄与するよう要請を行いました。



▲議題を真剣に検討される総会御出席の皆さん

本年度の事業計画議決される

1. 組織の拡充強化を図る
2. 未加入者の加入勧奨
3. 研修会・説明会の開催
4. 宝石の無料鑑別と、税普及のＰＲ活動
5. 青年部、婦人部の活動強化（レクリエーション、工場見学会等の開催）
6. 会報「たっくす」の発行
7. 上部団体との連携強化
8. その他、本会の目的を達成するための必要な事業の推進



▲総会終了後の懇談会であいさつする奥住会長

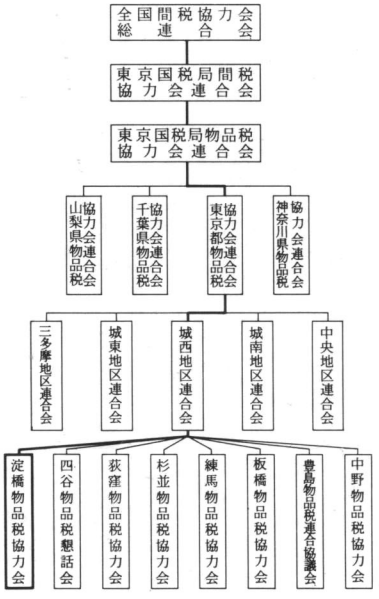
上部団体の活動

年月日	項目及び内容
59. 1. 23	全間連賀詞交歓会 理事2名出席
1. 25	城西地区連正副会長会議 於 練馬税務署
2. 6	城西地区連合会会長前田秀雄氏 藍綬褒彰受彰祝賀会開催 当会会員10名出席
4. 13	局間連研修会 於 農協ホール 当会青年・婦人部会員10名出席
4. 24	城西地区連役員会 於 練馬税務署
6. 12	城西地区連合会定期総会 於 東中野日本閣 当会会員13名出席

※ ここで上部団体の活動について触れておきます。当協力会の組織は別掲の上部団体（組織図参照）にそれぞれ所属し、常に連携を保って全国組織のもとで活動しています。例えば、税制改正等要望については、会員皆様方の幅広いご意見を結集し上部団体に対し積極的に意見具申を行なってまいります。

どうぞ、会員皆様方の暖かいご支援、ご協力を切にお願い申しあげます。

上部団体概要図



新入会員の紹介

第1種第1地区

(有)アマダス

阿竹みゑ （341）3294

新宿区新宿3－17－7 紀伊国屋ビル

(株)サルシン本舗薬王堂

渡辺 博 （209）6491

新宿区歌舞伎町2－45－6

第1種第3地区

(株)和光宝飾

井上 正 （360）7539

新宿区百人町1－10－10

第1種第4地区

(株)ジュエル松

渡辺寿男 （950）2964

新宿区西落合1−29−11 落合苑310

(有)島本彫金所

島本次郎 （953）6233

新宿区西落合1－4－7

第1種第5地区

(有)TK商会

河地 毅 （364）6540

新宿区高田馬場3－1－5－309

日仏貿易(株)

清水和孝 （367）0663

新宿区高田馬場4－22－46

住友ビル

こうき

平塚 隆 （344）6551

新宿区西新宿2－6－1 住友ビル



活　動　日　誌

年月日	項目及び内容
59. 1. 1	会報「たっくす」第５号を発行し、全会員に配布しました。
1. 20	税務協力８団体共催による、新年賀詞交歓会が開催され、当会会員20名が出席しました。
2. 8	税務連絡懇談会が開催され、当会から会長が出席しました。
3. 21	税務連絡懇談会が開催され、当会から会長が出席しました。
3. 27	理事20名が出席し理事会を開催総会運営について協議しました。
4. 3	「たっくす」第６号の発行についての編集会議を開催しました。
4. 17	税務連絡懇談会が開催され、当会から会長が出席しました。
5. 15	税務連絡懇談会が開催され、当会から会長が出席しました。
5. 18	昭和58年度の定期総会が盛大にとり行われました（別掲）。
5. 21〜25	物品税及び印紙税の説明会が開催されました。 ⑴第一種物品税販売業者証明書の更新について ⑵未加入者の説明会には当会から役員が出席して加入勧奨を行いました。
6. 21	税務連絡懇談会が開催され、当会から会長、他２名の役員が出席しました。

署　の　人　事　異　動

7月13日付

〈着　任〉

ポスト	氏名	前任
署長	富島　治郎	江戸川署長
副署長(所得税)	佐野　稔	税大教育一部主任教授
副署長(法人税)	古屋　勉	局人事一課補佐
総務課長	野津田昌澄	大月署総務課長
間税特官付調査官	石嵜　清一	神田署法人５調査官
間税１総括上席	小林　辰己	立川署間上席
間税１調査官	田中　幹人	局間特官付調査官
間税１	小野寺聖光	税大普通科43期
間税２上席	柘植　孝夫	八王子署間上席
間税２調査官	道端　秀夫	厚木署間調査官
間税２	山田　智博	税大普通科43期

〈離　任〉

ポスト	氏名	発令先
署長	宮澤　義幸	辞職
副署長(所得税)	小田辺忠雄	東審審判官
副署長(法人税)	山田　康王	下谷署法特官
総務課長	古藤　力夫	局調一特官
間税特官付調査官	斉藤　文雄	局間資料情報官付調査官
間税１総括上席	相吉澤英信	局間調４主査
間税１	名取　和彦	品川署総務
間税２上席	菅原　捷三	芝署間総括上席
間税２調査官	西村　和義	局総務厚生課
間税２	家入　茂	佐原署間

ダブルデッキサロンカー

ゴールドラッシュで行く

研　修　会

諏訪湖・精工舎工場へ

詳細は、後日参加者に連絡いたします。

淀橋物品税協力会・青年部・婦人部
合　同　研　修　会

と　き	昭和59年10月17日(水)
会　費	4,000円
集　合	新宿西口朝日生命前　午前８時
申込先	参加希望者は電話で(株)アリミノ 363－8211 経理課　宮武・入山
募集人員	50名（先着順）
乗　物	デラックス二階建てサロンカー

美しい装いに アクセサリーで

東京の街を見ると、女性が大変美しくなりました。それは、ファッションがすばらしくなったからでしょう。パリ情報を見ても、けっして見劣りしていません。自然さと自由さを抜いて考えれば、一部では、ニューヨークよりも進んでいるかもしれません。今日ではT.P.Oと言う言葉を知らない人はすくないでしょう。日本人特有のマナーや、T.P.Oも独自のものが暗黙のうちに出来上がって、〝結婚式なので…〟〝パーティーなので…〟と言って洋服を持って、アクセサリーの品々をコーディネートしに御来店下さる方々もふえました。

アクセサリーって なんだろう?!

アクセサリーとは、附属品や飾りの品々と言う言葉なので、コスチュームアクセサリー、ルームアクセサリー、カーアクセサリーetc.いろいろなアクセサリーがありますが、コスチュームアクセサリーを一般的に、アクセサリーと言われているようです。

高級なアクセサリーは、ジュエリーショップで商なわれ、安価な、装身具のみをアクセサリーと言い、アクセサリーショップと言われる店で商なわれています。

高価な宝石(ダイヤモンド、ルビー、エメラルド etc.)をプラチナ、ゴールドなど貴金属で加工した品々でも、今日免税価額(37,500以下)で、店により売られているようです。むしろ、洋服などの方が10万～20万はざらにして、ファッションショーなどの洋服は、1,000万～2,000万とするものを装う方々もふえつつあるそうです。そのような方から見れば、どのように高価でも〝アクセサリー〟と考えられると思います。

洋服や季節、T.P.Oにかなっていて、装う方を一層美しく見せる役目をはたせるものなら高価・安価をを問わず、美しいアクセサリーと評価されてよいと思います。

アクセサリーって 何でできているの?!

多くは、プラスチックのような品々と思われていますが、多種多彩な材料・材質があります。素材名と使用法、材質を簡単に説明いたします。

A 金属部分の材質

プラチナ<Pt800・Pm900と刻印有り>銀色をし、高価なため、高級装身具に使用されています。

ゴールド<金> イエローゴールド<K24・K18・K10 etc.刻印有り>ホワイトゴールド<WG575>の2種類の色の金が有ります。これは、合金の金属の種類により、それらのもつ特有の金属色のために、イエロー系の色とシルバー系の色の金にわかれます。金と人間との歴史は長く、それは、加工が楽で、耐久力も優れているので、リングやネックレスのよう



テアラ

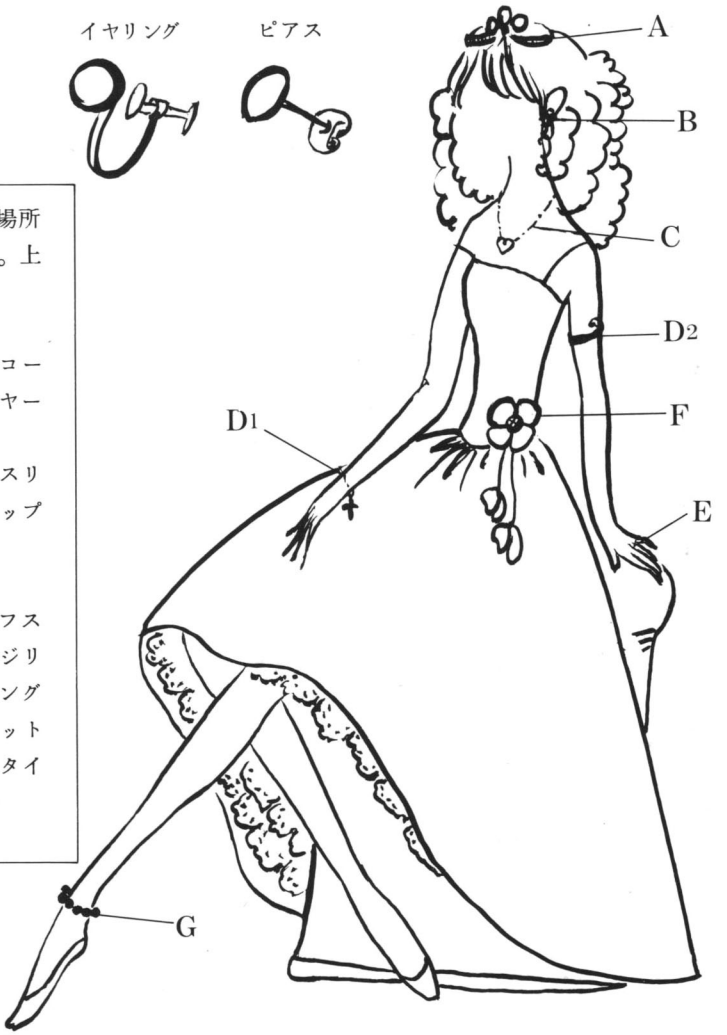
な、体に直接付けるアクセサリーとして、カジュアルな物からゴージャスな装身具まで、幅広く加工されています。

シルバー＜SV・SV925＞＜銀＞　プラチナにはない渋い輝きが、ファンの多い理由でしょう。洋銀製品には私達のあこがれのスプーン、ティーポット、キーホルダーなど家庭用品から、装身具までたいへん↗楽しませてくれますが、毎日の手入れを怠れば、銀特有の酸化のため、美しく見えなくなります。温泉などでは使用できず、不便と言えば不便な素材です。

スターリングシルバー＜925＞　銀製品の刻印の内にこの数字を見かけると思います。これは、純銀が大変に柔らかなために純銀で加工された製品が変形しやすいため↙に合金にした銀の含有率が書かれています。↙純銀を1000としたとき925銀で外75、合金属を混ぜています、という刻印です。硬く、ティーポットのような製品は、スターリングシルバーが多いと思います。

金や銀に見える金属　＜メッキ・ハリ＞

安価なアクセサリーは、真ちゅうや、ブロンズ・鉄 etc.　低金属で製作された品物に、さび予防や耐久性をもたせる意味でメッキや張りの技術を使って、金や銀の持つ美しさを与えられた品物もあります。このメッキとは、Gold plating と言われ、台金の表面に薄い金の膜を電気分解により電着させた製品を言います。



装身具には、付ける場所で名前がついています。上から順に紹介します。

A. テアラー・ヘヤーコーム・帽子ピン・ヘヤーピン
B. イヤリング・ピアスリング・イヤークリップ
C. ネックレス
D1. ブレスレット
D2. アームレット・カフス
E. リング・エンゲージリング・カクテルリング
F. ブローチ・ジャケットピン・タイピン・タイタック・コサージ
G. アンクレット

張りとは、ロールドゴールド・ゴールドフィルド ―片面あるいは両面上に金、あるいはその合金の地金を熱と圧力によって接着させたものを、ロールにより圧延して薄い板金をした製品を言います。金張りの製品には、分数とカラットとが記号で表わされています。分数とは、製品の全量に対する張り合わせた合金の目方を示し、カラットは張り合わせた合金の純分を示してます。<1/10 18KG filled >

真ちゅう　銅と亜鉛の合金

ブロンズ　銅・錫・亜鉛の合金です。メッキの方が張りの製品より金などの厚みがうすいので、大切にあつかいましょう。汗をかく季節にはとくに、使用した後、ガーゼなどで汗をとりましょう。

B 宝　石

天然で産した美しく高価なもの

貴石　ダイヤモンド・エメラルド etc.

半貴石　ラピスラジュエリー・メノー etc.

C 天然素材

アイボリ<象牙>　オフホワイトの美しい色は、夏にはかかせない装身具の素材です。アフリカ象やインド象の牙を言います。加工しやすいので、ネックレス・ブレスレットなどが製品化されています。重さや、加工代金で価値がきまっているようです。代用品も多く出まわり（他の動物の骨・ラクトと言われる樹脂など）安心できる店で買いましょう。汗などで黄色く変色した場合、専門店では、再度、漂白してくれます。夏の前に、漂白に出して白い色を夏に楽しみましょう。

コーラル<サンゴ>　赤・桃色・白・まろやかな色と、膚ざわりは、昔から女性に大変いとおしがられております。長崎や沖縄などに旅行をすると、名産として売られています。小笠原附近・長崎・鹿児島が有名で良質のサンゴが取れます。サンゴは、サンゴ虫の軸骨です。ハワイのみやげもので見る黒サンゴは、ウミカラマツで、貴重サンゴとは別種です。海で取れる木の枝のような品にはよくサンゴの名前が付けられています。サンゴも、真赤な品は高価なため、宝石店であつかわれていることもあります。自然な樹のネックレスは、夏にはかかせないアクセサリーですし、まるく磨かれた玉の何列ものネックレスは、フォーマルな装いに、個性的なファッションに幅広く利用できます。

パール<真珠>　日本では、養殖で真珠が作られています。その技術はすばらしく、近年南洋パール・黒パールまで、養殖で作り出しています。ナチュラルパールを見ることはむずかしくなりました。パールは冠婚葬祭の時の服装の必需品なので、ネックレス・イヤリング・指輪 etc. を持っていらっしゃる方が多いので、説明を省きます。

カイパール　養殖パールの芯を核といいますが、その核と同じ材質の貝の核に、パールエッセンスの加工をした品物、その他プラスチック・ガラス・陶器 etc. パールの良さを楽しみたくて作られています。



チョカー 又は
ユニホームサイズ
―連の全部の玉の粒の大きさが等しいサイズのネックレス



36～42cm
グラデュエーション
中央の1個が大きく順次少しずつ小さくなるネックレス



ロープ　ロング
142cm　60cm
107cm　70cm
80cm



ペンダント

カ　メ　オ　サーモン色の上に、白色の美女の横顔、イタリアのおみやげで見かけるとおもいますが、シエルカメオと言います。メノーなど宝石材のものや、モールデットカメオ（型流し）、プレスビカメオ（型押し）のイミテーションカメオもあります。

シ　ェ　ル　貝の持つスタイルの美しさを、そのままに加工した製品や、金属に美しい貝の部分をはめ込んだ象眼（ぞうがん）加工など材料として昔から利用されています。

べ　っ　甲　かんざし・くし　というイメージがありますが、天然素材の洋服のブームで、愛好者が増えています。あめ色や斑のある褐黒色のこのアクセサリーは、一見プラスチックの様に見えますが、軽くてやわらかな膚ざわりは、プラスチックとは一味ちがう良さがあります。海ガメでタイマイの甲羅を加工したものです。インドネシアや南太平洋諸島が主な産地です。和甲と呼ばれる海ガメですが、タイマイというカメとは異なる種類のものが、代用品として加工されています。やはり本物の方が軽くて、美しいとのことです。



コーム

水牛<水牛の角>　一見、べっ甲のようです。安価なので、イヤリングやネックレス・ブレスレットをよく見かけます。重いことが弱点です。

アンバー<こはく>　ソ連やドイツに旅行をされた方はかならずといっていいほど、おみやげ店でみかけるトパーズ色の軽い装身具は、アンバーです。3000万年前の松柏類の樹脂の化石になったものです。昆虫や植物片が入っていたりすることがあります。再成こはく ― 今年多いのは、こはくが250℃～300℃で溶解するためで、小片を溶解し固めたものです。アンブロイドと言います。品物としては変りなく、美しいのでその方がよいと思います。

ラクダの骨　よく象牙の代用品として加工されています。

木
プラスチック
ラクト（カゼイン樹脂）
ガラス
布・せんい
陶　器
花（ドライフラワー・小麦粒パンフラワー）

種々の素材をつかって装身具が作られています。

どうすれば美しく装えるのかしら？

アクセサリーは、洋服の欠点や、体の欠点をかくす意味で付ける場合と、他の所に注意をひく意味で付ける場合があります。どんな場合でも一番大切なのは、T.P.O（時・場所・目的）を充分理解した上で、無理なく、コーディネートすることです。そして、自分はトラディショナルにしたり、又はスポーティ、ロマンチック、セクシー、エレガントにと方針をきめて、個性にみあったアクセサリーを見つけることが大切です。お店の方に、洋服を持参して相談することも良い方法の一つでしょうが、店の方にすすめられるままに、付けすぎることのないように注意して下さい。

アクセサリーをとりかえることによって、ショッピングスタイルでも、パーティーや、PTAなどに出席するファッションに変身できます。これがアクセサリーの利点です。大いに利用して、一枚の洋服を気分を変えてたのしんで下さい。

健康第一　仕事第一　趣味第一



株式会社 新宿高野
社長　**高野　吉太郎**

今回は、新宿の老舗、㈱新宿高野の社長　高野吉太郎氏に創業時の状況や経営信条などについて、忙しいなか時間をさいてお話をうかがいました。

◉店は白寿、私は本卦帰り

私どもの店が「高野果実店」として、新宿（昔の東京府南豊玉郡淀橋町）に創業したのは明治十八年（1885）でございます。以来今年で九十九年（1984－1885＝99）になります。なお新宿駅も同じ年に開設しておりますので、人間ならさしずめともに白寿を迎えることになります。

私が新宿で生まれた（二代高野吉太郎長男）のは関東大震災翌年の大正十三年（1924）ですので、今年は六十才の本卦帰りでございます。昔からいう「六十の手習い」の譬どおり、ご時勢に負けないように、もういちど経営の手習いをはじめようと思っております。

タカノ・フルーツパーラーができたのも、私の生まれた同じ大正十三年ですので、これまた私と同じ還暦を迎えることになります。

店は九十九年で白寿、私とフルーツパーラーは六十年で還暦、これからが私の正念場だと思っています。私の信条である**「フレッシュ＆フレッシュ」**の気もちで、来年に迎える創業百年に向かってひたすらというのが今の気もちです。

◉温故知新がベースの世代創業

私は初代創業者精神をベースとした**「世代創業者」**という考え方を経営信条としています。すなわち、二代は初代にも増した創業者精神で経営に当たり、三代は二代にも増した創業者精神で経営に当たる姿勢、言葉をかえれば、先代、先達の訓示を鑑として、絶えず創造的な経営に挑むというのが、私のいう**「世代創業者」**という考え方です。

◉経営コンセプトはツーウェイ

私どもの店の経営コンセプトは、次の図式によるツーウェイ・コミュニケーションです。

店＝売り場……価値ある暮らしへの提案
⇩　⇧
客＝買い場……味とハートを感じる店

この図式でおわかりのように、店から客へ、客から店への往復路線、すなわちツーウェイ・コミュニケーションを見直し、味とハートを本当に感じていただける店にしよう、というのが私どもの経営コンセプトです。

◉食、衣、さらにアートの美

専門店である以上、食では美味しい美を、衣では装いの美を、商品として、情報として客に提供提案するのはもちろんです。しかし街の文化としてもアートがもとめられる時代だと思います。私どもの別館にギャラリーを設けたのも、そういう意味が多分にありました。

◉健康第一に

今までの六十年間、比較的丈夫に過ごしてこられたのも、いい古された言葉ですが、やはり健康第一です。健康第一であったればこそ、私は仕事第一、趣味（ゴルフ）も第一だといいきることができます。

これからも健康第一に考えて、六十の手習いに精をだし、フレッシュ一途の白寿の店に、さらに輝やく百年＝一世紀を迎えられるようにがんばりたいと考えております。

署からのお知らせ

金貨等とその専用枠又はケース等を一緒に小売した場合の物品税の取扱い

1. 金貨又はコインバー等と称する物品（以下「金貨等」という。）と専用枠（フレーム）ー金貨等をペンダント、カフス、ネクタイ止め及びブレスレット等とするためのものーを一緒に小売した場合は、全体が1個の貴金属製の身辺用細貨類として取扱われます。

この場合、金貨等を専用枠にはめ込んで一物としているかどうか又は金貨等と専用枠の小売価格を区分表示しているかどうかは問いません。

このように取扱われるのは、金貨等については、従前から、金貨単独ではメダルその他これに類する収集品として取扱い、また、コインバー単独では通常課税物品に該当しない地金として取扱っているところですが、金貨等と専用枠が組み合わさったことによって、金貨等とは別物品のペンダント等の身辺用細貨類として販売していると認められるからです。

2. 金貨と金貨の保護用板ケースを一緒に小売するに当たって、金貨と板ケースにそれぞれ小売価格が表示されていて、消費者がそれぞれを各別に購入できる状態にある場合は、金貨のみが課税対象として取扱われます。

この場合の保護用板ケースとは、例えば、同一の金貨10枚を収用するケース、1オンス・2分の1オンス・4分の1オンス・10分の1オンスの計4枚の金貨を収容するケース、1枚の金貨を収容するケース等をいいます。

また、消費者が各別に購入できる状態にある場合とは、例えば、金貨を板ケースに収容し陳列していても、消費者が金貨だけ又は板ケースだけを注文した場合に、それらの片方だけを販売する態勢にあるものをいいます。

なお、板ケースに金貨を収容し、小売価格の表示を金貨と板ケースの合計額のみとして、消費者が金貨又は板ケースを各別に購入できない状態にある場合は、その全体が1個の貴金属製のメダルその他これに類する収集品として取扱われます。

3. 金貨を桐箱等の専用の容器（前記2の保護用板ケースではありません。）付きで小売した場合は、金貨とその容器の小売価格を区分表示しているかどうかにかかわらず、金貨とその容器の小売価格の合計額が金貨の小売価格として取扱われます。

このように取扱われるのは、物品税の課税標準額算出に当たっては、課税物品とともに消費者に入手されるべき当該物品の容器及び包装の費用も、課税物品の小売価格に含まれるものとされているからです。

4. コインバーとその容器に関する物品税の取扱いは、次のとおりです。

コインバーは、通常地金として取引されているため、課税物品に該当しないものとして取扱っていますが、これを桐箱等の専用の容器（前記2の保護用板ケースではありません。）に収容して販売する場合は、地金として販売しているのではなく、収集品として販売しているものと認められるため、従来から、貴金属製のメダルその他これに類する収集品に該当する課税物品として取扱っています。

編集後記

今回の「趣味のコーナー」は、パイプの専門店㈲加賀屋社長・森井寛氏のご紹介で森内俊雄氏に「パイプの話」を書いていただきました。森内氏は角川文庫で「使者」を発表されている著名な作家です。この欄をお借りして両氏に深く御礼申しあげます。

皆様のご意見・ご要望をお寄せ下さい。

編集事務局　㈱京王百貨店経理部管理課内
342－2111　内3501
発行年月　昭和59年8月
発行者　淀橋物品税協力会



パイプよパイプ

作家　森内俊雄

趣味を語ることは恐い。その人柄があらわになるに加え、いかなる趣味と言えども、奥深いものだと思うからである。遊び、慰めに終わらず、精神の高みに達するものでもあるから、たかが趣味と軽く言うことが、はばかられる。もっとも、時には、生きるための趣味なのか、趣味のために生きているのか、見分けがたくなる人も無いではない。極端に走って、生きること自体が趣味だ、とうそぶくものもいる。

私の趣味はパイプ喫煙である。喫煙は嗜好に属するが、美食をもって趣味とする人もあるし、煙を吸う道具としてのパイプの自然の木目、造型の美しさへの関心から、愛玩蒐集に到るから、これがホビーであることに疑いはない。私はパイプを愛して二十三年になる。ところで、シガレットは誰でも手軽になじめるが、パイプは少々事情がことなる。パイプは、人を選ぶ、という。有難いことに、私はパイプに選ばれた。その幸福に毎日ひたっている。シガレットも決して悪くはないが、煙草のうまさ、心の安らぎを得るに、パイプにまさるものはない。パイプは人を選ぶ、と書いたが、人との交わりと同じで、付き合いはじめる人の心次第で、誰でも親しくなじめるものである。最近、喫煙の害がうるさく言われているが、私はパイプを吸ってきた御蔭で健康である。何故なら煙草をおいしく吸いたいがために、快食、快眠、快便、運動、入浴を心がけてきた。健康診断も、きちんとうけている。加えて、パイプ喫煙は、シガーの吸い方と同じく、ゆっくり味わい、胸深く吸わず、口腔、鼻腔を主とした、一種の環流法で味わうから、悪影響はシガレットより軽い。煙の粒子も大きいから肺胞への浸透もすくない。私は嫌煙家のさわぎ立てる人に申し上げたいのだが、食品添加物や排気ガスがもっと危険だし、そもそも酒と違って、煙草を吸ったばかりに、一家離散、喧嘩口論、殺人、みだらな行為に走った人の話を聞いたことがない。

もちろん、私も煙草の軀に及ぼす害を知らないわけではない。煙草を吸わない人、特に子供や病人のそばでは、きびしく自分をいましめている。自分自身に対しても節制を言い渡してある。笑いたければ笑えばいいが、ガン保険にもはいっている。さて、パイプの楽しさ、味わいの紹介がこの小文では不可能なのが残念であるが、値段のことについて言えばきりがない。新車一台を買えるくらいのものから、ちょっとした御馳走をいただく、五、六千円、いや、もっと安いものもあって、その人の考え次第だが、安い物でも探せば、良いものが手にはいる。それにパイプは、使いこんで、思い出を日々にこめ、色つやをよくしてゆくものである。無理をすることはない。私は喜怒哀楽の折々に、パイプを買う。並べてあるのを眺めれば、それを買った日の天候、気分、その日に味わった食事にいたるまで、すべて思い出せるし、また苦楽、人生の哀歓をともにしてきた日々の記憶のすべてがそこにある。パイプ党になるかどうか、買う買わないは別にして、一度、パイプ店に足を運んで欲しい。思いもしなかった発見をすることをうけあっていい。私はパイプ仲間がひとりでも多く増えることを、心から望んでいる。私は別にへつらい、お世辞を言い、宣伝をするつもりは、いささかもないが、パイプ店巡礼の結果で言えば、新宿紀伊国屋ビル一階奥にある加賀屋をおすすめする。パイプに関してのお勉強を最も良くし、店主の森井寛氏のお人柄からか、ここでは、おしつけがましくなく、かといって老舗ぶってたかぶらず、おっとりと応待してもらえる。もっとも私自身は、パイプ気違いなので、行けば欲しくなり、目の毒なので、年に二、三度しか覗かない、はなはだ上得意ではない客である。いまは世紀末だが、来たる二十一世紀百年が、人類の歴史の世紀末だという。どんなものだろう？せかせかしないで、パイプでも吸って、ゆったりといきたいものである。